



《RAM PRACTICE 2021》開催

[EXHIBITION] 会期 = 2021年3月26日 [金] - 3月28日 [日]

[ONLINE SCREENING] 上映期間 = 2021年3月21日 [日] - 4月4日 [日]

東京藝術大学大学院映像研究科が主催する「RAM Association (メディアプロジェクトを構想する映像ドキュメンタリスト育成事業)」では、実空間での展覧会 [EXHIBITION] とオンライン上映会 [ONLINE SCREENING] の二部構成による《RAM PRACTICE 2021》を開催いたします。

RAM Associationは、2014年にノンディグリープログラムとして始動し、この3年間は「ポストドキュメンタリー」をテーマに都市や社会の中で問いを見出し、新たなプロジェクトを実践してきました。《RAM PRACTICE 2021》では、研修生を始めとするRAMメンバーが取り組んできたプロジェクトを作品ベースで紹介し、同時代を表現する動機や方法、その実践を広く共有するためのプラットフォームを目指します。ゲストアーティストを含む総勢45組が参加し、展示や上映だけではなく、パフォーマンス、ワークショップ、トークセッション (RAM CHANNEL) といったイベントも併せて公開いたします。

[EXHIBITION] は2021年3月26日(金)から3月28日(日)にかけて、東京藝術大学 横浜校地・元町中華街校舎にて開催。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日時指定の事前予約制 (無料) となります。

[ONLINE SCREENING] の上映期間は2021年3月21日(日)から4月4日(日)まで。事前登録のうえ、期間中いつでも視聴可能 (無料) です。

広報についてのお問合せ

geidairam@gmail.com [担当: 西本健吾]

広報用画像は下記URLよりダウンロードいただけます。(11.4MB)

<http://ow.ly/tVwC30rBha6>

開催概要

タイトル 《RAM PRACTICE 2021》

予約受付WEB <http://geidai-ram.jp/rampractice2021/>

[EXHIBITION]

会期 2021年3月26日 [金] - 28日 [日]

時間 10:00 - 18:00 [事前予約制]

会場 東京藝術大学 横浜校地 元町中華街校舎 (神奈川県横浜市中区山下町116)

入場料 無料 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご来場の皆様には、入場制限、ご連絡先の記入へのご協力をお願いする場合がございます。また、体調の優れない方はご来場をお控えくださいますようお願い申し上げます。

特設WEB
[EXHIBITION]



特設WEB <http://geidai-ram.jp/rampractice2021/ex/>

参加作家 Akari Yasuda-Akiki / 池添 俊 / 岩根 愛 / 上野貴弘 / 武政朋子 / 田中永峰良佑 /
Dino Rib / Ha miwako / 間庭裕基 / 三枝 愛 / 山科晃一 / Yuni Hong Charpe /
羅 絲佳 / 朝倉千恵子 / 宇佐美奈緒 / 川上大雅 / 倉谷 卓 / 佐藤貴宏 /
シェレンバウム ゴエ / 柴田 悠 / タゴチャン / 土本亜祐美 / トモトシ / 万里 Madeno /
大和由佳 / 吉田高尾 / 李 和晋 / チーム・チープロ / 青柳菜摘 + 佐藤朋子 /
Ad Mornings / カニエ・ナハ / 玄 宇民 + 金 益鉉 / 潘 逸舟 / 新しい都市の使い方 /
紀行文アンソロジープロジェクト / pose collective ※順不同

[ONLINE SCREENING]

上映期間 2021年3月21日 [日] - 4月4日 [日] ※期間中いつでもご視聴いただけます。

視聴方法 要申込み・無料
予約受付WEBよりお申込みいただいた方に、視聴用URLをお送りします。

特設WEB
[ONLINE SCREENING]



特設WEB <http://geidai-ram.jp/rampractice2021/os/>

参加作家 Akari Yasuda-Akiki / 上野貴弘 / 三野 新 / 山科晃一 / 佐藤貴宏 /
シェレンバウム ゴエ / 李 和晋 / タゴチャン / 青柳菜摘 / オルト /
カニエ・ナハ / 玄 宇民 + 金 益鉉 / 潘 逸舟

[GUEST]

是恒さくら / 田上 碧 / 田村友一郎 / 地主麻衣子 / 東方悠平 / 山形一生 ※順不同

主催 東京藝術大学大学院映像研究科 RAM Association

助成 令和2年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」

主な参加作家 [EXHIBITION] ※順不同



岩根 愛《Unfiled Decades》
2021年



武政朋子 / 田中永峰良佑
《「I don't meet your eyes」展》2021年



間庭裕基《失踪回路》
2021年



三枝 愛《禹歩》
2020年

※ [EXHIBITION] では新作発表予定



Yuni Hong Charpe (共同企画: 吉田駿太郎)
《「はさむ」ワークショップ》2021年



トモシ《ミッシング・サン》
2021年



潘 逸舟《ほうれん草たちが日本語で夢を見た日》
2020年



Ad Mornings
《Ad Mornings-Nuclear》《Ad Mornings-Corona》
2020-2021年

主な参加作家 [ONLINE SCREENING] ※順不同



Akari Yasuda-Akiki 《9,000スクエアフィート》
2021年 / シングルチャンネル (HD) / 12分33秒



上野貴弘 《不知八幡森》
2021年 / シングルチャンネル (HD) / 11分24秒



シェレンバウム ゾエ 《島の蝕》
2021年 / シングルチャンネル (HD) / 12分45秒



李和晋 《イメージをさがして》
2020-2021年 / シングルチャンネル (HD) / 7分23秒



青柳菜摘 《富士日記》
2016年 / シングルチャンネル (HD) / 12分20秒



オル太 《超衆芸術 スタンドプレー》
2020年 / シングルチャンネル (HD) / 1時間29分47秒
©OLTA 写真：田村友一郎

[GUEST]



山形一生 《Rootless》
2020年 / シングルチャンネル (HD) / 7分23秒

[GUEST]



地主麻衣子 《Lip Wrap / Air Hug / Energy Exchange》
2020年 / シングルチャンネル (HD) / 2分

RAM Associationについて

東京藝術大学大学院映像研究科が主催するRAM Associationは、「ポストドキュメンタリー」をテーマに創造的な活動を行うことのできる人材の育成を図るノンディグリープログラムであり、2018年度から3年間にわたり実施してきました。芸術の社会的な役割が問われているなかで、同時代芸術としての新たな問いを発見し、それをいかにして表現していくのか、先鋭な芸術表現とプロジェクト実践を探求する場になることを目指しています。映像表現やパフォーマンスなどの概念や技術を習得するだけでなく、アクチュアルな実践者たちが互いに学びあう機会を通して、表現行為をめぐる根源的な問いを立てていきます。

プロデューサー=桂英史（メディア研究, 芸術実践論, 東京藝術大学大学院映像研究科教授）, 高山明（演出家, 同学教授）
ディレクター=和田信太郎（メディアディレクター, 同学助教）

これまでの取り組み



- RAM Associationの活動紹介映像はこちらをご覧ください。
2019年度 <https://youtu.be/8ZH7ZG2MV34>
2018年度 <https://youtu.be/Vlrd8vbSwM>
- 2014年～2016年は「リサーチ型アートプロジェクトのための人材育成事業（geidaiRAM）」を実施しました。
<http://geidai-ram.jp/ram1/>

2016年度 <https://youtu.be/bK4NKj8Tc5o>
2015年度 <https://youtu.be/PYMIg5UctqQ>
2014年度 <https://youtu.be/Kd7XkhxxlgU>

メディアプロジェクトを構想する映像ドキュメンタリスト育成事業 RAM Association: Research for Arts and Media-project

主催 東京藝術大学大学院映像研究科
助成 令和2年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」

<http://geidai-ram.jp>

Twitter・Instagram @geidairam
Facebook <https://www.facebook.com/geidairam>

